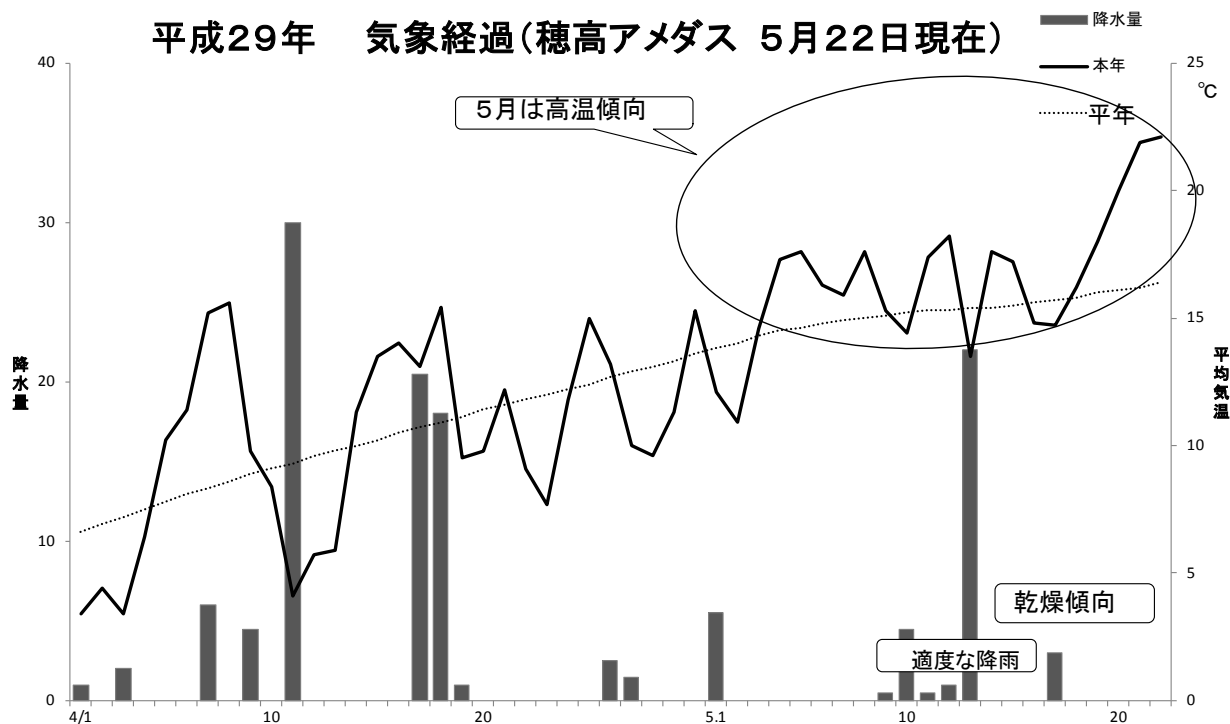


平成29年 作物技術普及情報 第7号

(麦の生育状況・赤かび病防除・水田管理について)



1 麦の生育状況について

○5月23日現在、島内品種試験圃(11月4日播種)の生育状況は、次のとおりです。

【大 麦】

ファイバースノウ	現在	登熟後期		
	出穂期	4月30日	平年	4月30日(平年並)
ホワイトファイバー	現在	登熟後期		
	出穂期	4月30日		

【小 麦】

シラネコムギ	現在	開花期		
	出穂期	5月12日	平年	5月7日(5日遅い)
ゆめきらり	現在	登熟始期		
	出穂期	5月9日	平年	5月6日(3日遅い)
しゅんよう	現在	開花期		
	出穂期	5月10日	平年	5月7日(3日遅い)

ゆめかおり

現在 開花期

出穂期 5月 9日 平年5月 6日（3日遅い）

○現地における出穂状況は次のとおりです。

【大 麦】 登熟後期（芒が黄化始め）

出穂始 4月 28日頃～ 出穂期 4月 30～5月 2日頃～ 出穂揃 5月 4日頃

【小 麦】 登熟中期

出穂始 5月 5日頃～ 出穂期 5月 7日～5月 12日頃

～ 出穂揃 5月 15日頃

以上から、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは

大麦 登熟後期、小麦 開花期～登熟中期

生育進度は、大麦は平年並、小麦は平年より3～5日程度遅れていると
思われます。

（２） 麦の成熟状況について

○島内品種試験圃における過去の成熟期と、登熟積算気温からの大・小麦の成熟期の推定をお送りしますので、RC等施設稼働や収穫時期の目安にご活用ください。

○出穂後の気温は平年より2～5℃高めに推移しています。大麦は6月6日頃から、小麦は6月22日頃から成熟期を迎えると思われませんが、成熟期は今後の気象状況などで前後します。

登熟期間中に気温が高く、降雨の少ない状況が続くと、予想より成熟が早まる可能性があります。湿害、寒害、干ばつを受けて根の生育の劣る圃場、播種遅れ等で生育が不足している圃場、極端なやせ地ではご注意ください。

松本農業改良普及センターのホームページに掲載した適期収穫チャートなどを参考に、圃場での成熟状況を確認し適期収穫をお願いします。

○「ゆめきらり」、「ゆめかおり」は穂の色が白い品種なので、成熟期になっても、穂の色は褐色になりませんので、この点にご注意下さい。

刈り遅れると穂が黒ずみ、黒かび粒が発生するので、適期収穫をお願いします。

松本市島内 麦品種試験（奨励品種決定調査圃場）の歴年値

シュンライ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	4月21日	6月8日	48	779
H15	4月30日	6月9日	40	676
H16	4月23日	6月2日	40	647
H17	4月29日	6月7日	39	629
H18	5月4日	6月12日	39	661
H19	5月1日	6月13日	43	735
H20	4月28日	6月8日	41	656
H21	4月26日	6月8日	43	686
H22	4月28日	6月8日	41	688
H23	5月3日	6月11日	39	641
H24	5月1日	6月10日	40	634
H25	5月6日	6月18日	43	810
H26	5月3日	6月12日	40	694
H27	4月28日	6月8日	41	728
H28	4月20日	5月31日	41	690
本年	4月28日			
平年	4月28日	6月9日	41	690
平年差	平年並			

凍霜害

ファイバースノウ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	4月22日	6月12日	51	850
H15	5月1日	6月10日	40	685
H16	4月25日	6月10日	46	790
H17	4月30日	6月11日	42	696
H18	5月6日	6月15日	40	725
H19	5月2日	6月14日	43	739
H20	4月29日	6月9日	41	662
H21	4月29日	6月10日	42	680
H22	4月29日	6月9日	41	694
H23	5月4日	6月12日	39	647
H24	5月2日	6月11日	40	639
H25	5月8日	6月19日	42	812
H26	5月6日	6月14日	39	695
H27	4月28日	6月8日	41	728
H28	4月21日	6月2日	42	708
本年	4月30日			
平年	4月30日	6月11日	42	717
平年差	平年並			

凍霜害

シラネコムギ

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H14	5月3日	6月21日	49	869
H15	5月9日	6月27日	49	918
H16	5月3日	6月20日	48	881
H17	5月5日	6月22日	48	857
H18	5月9日	6月29日	51	950
H19	5月7日	6月25日	49	881
H20	5月5日	6月27日	53	912
H21	5月6日	6月24日	49	877
H22	5月6日	6月23日	48	885
H23	5月12日	6月28日	47	870
H24	5月9日	6月25日	47	814
H25	5月12日	6月29日	48	949
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月6日	6月20日	45	825
H28	5月1日	6月15日	45	830
本年	5月12日			
平年	5月7日	6月24日	48	877
平年差	5日遅			

凍霜害

しゅんよう

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H15	5月10日	6月26日	47	884
H16	5月4日	6月20日	47	864
H17	5月5日	6月22日	48	857
H18	5月9日	6月29日	51	950
H19	5月7日	6月27日	51	926
H20	5月5日	6月27日	53	912
H21	5月7日	6月25日	49	886
H22	5月6日	6月24日	49	905
H23	5月12日	6月27日	46	845
H24	5月9日	6月25日	47	814
H25	5月12日	6月29日	48	949
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月6日	6月21日	46	843
H28	4月29日	6月14日	46	833
本年	5月10日			
平年	5月7日	6月24日	48	878
平年差	3日遅			

凍霜害

ゆめかおり

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H19	5月7日	6月24日	48	861
H20	5月6日	6月24日	49	833
H21	5月4日	6月21日	48	838
H22	5月4日	6月21日	48	885
H23	5月11日	6月27日	47	859
H24	5月7日	6月23日	47	817
H25	5月11日	6月28日	48	944
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月4日	6月18日	45	819
H28	4月25日	6月11日	47	826
本年	5月9日			
平年	5月6日	6月22日	47	851
平年差	3日遅			

凍霜害

ゆめきりり（東山48号）

収穫年度	出穂期	成熟期	登熟日数	積算気温
H22	5月5日	6月20日	46	786
H23	5月10日	6月26日	47	847
H24	5月8日	6月24日	47	808
H25	5月11日	6月29日	49	966
H26	5月12日	6月25日	44	830
H27	5月4日	6月19日	46	836
H28	4月28日	6月12日	45	804
本年	5月9日			
平年	5月6日	6月22日	46	840
平年差	3日遅			

凍霜害

【参考】 登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(5月22日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650～700℃、小麦は850～900℃として推定しています。

平均気温は穂高アメダス値です。5月22日までは本年値、以降は平年値を用いています。

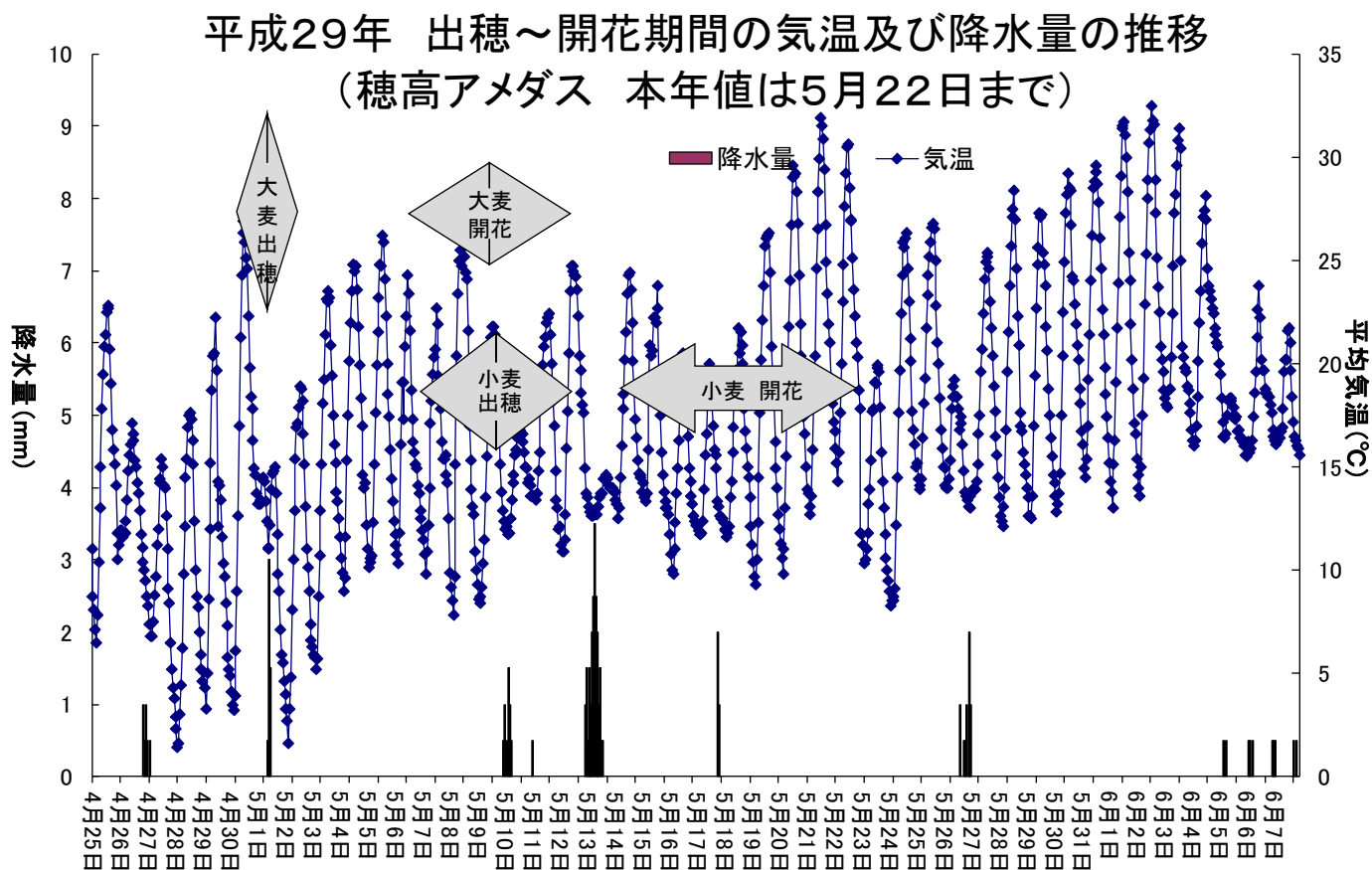
月 日	本 年									
	平均気温									
4月18日	15.4									
4月19日	9.5									
4月20日	9.8									
4月21日	12.2									
4月22日	9.1									
4月23日	7.7									
4月24日	11.8									
4月25日	15.0									
4月26日	13.2									
4月27日	10.0	大麦								
4月28日	9.6	4月28日出穂圃場								
4月29日	11.3	11	大麦							
4月30日	15.3	27	4月30日出穂圃場							
5月1日	12.1	39	12	大麦						
5月2日	10.9	50	23	5月2日出穂圃場						
5月3日	14.6	64	38	15						
5月4日	17.3	82	55	32						
5月5日	17.6	99	73	50	小麦					
5月6日	16.3	115	89	66	5月6日出穂圃場					
5月7日	15.9	131	105	82	16					
5月8日	17.6	149	122	99	34	小麦				
5月9日	15.3	164	138	115	49	5月9日出穂圃場				
5月10日	14.4	179	152	129	63	14				
5月11日	17.4	196	169	146	81	32	小麦			
5月12日	18.2	214	188	165	99	50	5月12日出穂圃場			
5月13日	13.5	228	201	178	112	64	14			
5月14日	17.6	245	219	196	130	81	31			
5月15日	17.2	263	236	213	147	98	48			
5月16日	14.8	277	251	228	162	113	63			
5月17日	14.7	292	265	242	177	128	78			
5月18日	16.2	308	282	259	193	144	94			
5月19日	18.0	326	300	277	211	162	112			
5月20日	20.0	346	320	297	231	182	132			
5月21日	21.9	368	342	319	253	204	154			
5月22日	22.1	390	364	341	275	226	176			
5月23日	16.5	407	380	357	291	243	193			
5月24日	16.6	423	397	374	308	259	209			
5月25日	16.8	440	414	391	325	276	226			
5月26日	16.9	457	430	407	342	293	243			
5月27日	17.1	474	448	425	359	310	260			
5月28日	17.2	491	465	442	376	327	277			
5月29日	17.4	509	482	459	393	345	295			
5月30日	17.5	526	500	477	411	362	312			
5月31日	17.7	544	517	494	429	380	330			
6月1日	17.9	562	535	512	446	398	348			
6月2日	18.0	580	553	530	464	416	366			
6月3日	18.2	598	571	548	483	434	384			
6月4日	18.3	616	590	567	501	452	402			
6月5日	18.5	635	608	585	519	471	421			
6月6日	18.6	成 成 成	653	627	604	538	489	439		
6月7日	18.8	672	646	623	557	508	458			
6月8日	18.9	691	成 成	665	642	576	527	477		
6月9日	19.0	成	710	成 成	684	成 成	595	546	496	
6月10日	19.1		729	成	703	成	614	565	515	
6月11日	19.2		748		722	成	633	584	534	
6月12日	19.4		768		741		652	604	554	
6月13日	19.5		787		761		672	623	573	
6月14日	19.6		807		780		692	643	593	
6月15日	19.7						711	662	612	
6月16日	19.8						731	682	632	
6月17日	19.9						751	702	652	
6月18日	20.0						771	722	672	
6月19日	20.1						791	742	692	
6月20日	20.2						811	762	712	
6月21日	20.3						832	783	733	
6月22日	20.4						成 成	803	753	
6月23日	20.5						成	824	774	
6月24日	20.6						成	844	794	
6月25日	20.8						成	865	815	
6月26日	20.9						成	886	836	
6月27日	21.0						成	907	成 成	857
6月28日	21.1							928	成	878
6月29日	21.3							949	成	899
6月30日	21.4							1020	成	921

(3) 麦の赤かび病対策について

開花期から2週間の間は、感染しやすいステージです。

- 大麦は5月10日、小麦は5月17日の開花期に、一時降雨に遭いましたが、ともに濡れ時間は極短時間で気温も14℃以下に下がったため、赤かび病の感染リスクは少ないと思われます。

開花後2週間にあたる6月初旬までは、注意が必要と思われるので、6月上旬に圃場を巡回し、発生の有無の確認をお願いします。



2 水稲の本田初期の管理

田植え後、高温傾向で推移しています。活着は順調ですが、徒長した苗やムレ苗等で生育が弱った苗は、植傷みを受け、活着不良となりやすい状況ですので、活着促進のため水管理の徹底をお願いします。

気温が高いため、藻類・表層剥離の発生が目立ちます。除草剤による防除については「平成29年度農作物病害虫・雑草防除基準」に記載されている除草剤をご使用ください。

また、生わら等の未分解の有機物が急激に分解を始めるために、水田の土壌中が強還元状態となり酸欠により、稲が根腐れを起こす場合があります。水田内を歩いてガスがわいているようなら、10日に一度の間隔で晴天の日中に水を払って田面を空気にさらし、ガス抜きと酸素の供給を行ってください。

水管理が不十分で除草剤の効果が低下して雑草が残ったり、再発生する場合があります。特にヒエやホタルイは葉令が進んでから気が付く場合があります。このため除草剤を処理して7日～10日後には圃場状況を確認し、残草状況によっては、中期剤や後期剤の対応をお願いします。